

委員名	区分	質問・意見	水道局回答	担当課
足立委員	質問	<p>【資料「水-2-1」札幌水道ビジョンの進捗 P8 主要事業9⑤】</p> <p>主要事業9施設のセキュリティ強化について、ビジョンでは、セキュリティの強化対象は施設となっていますが、局内のPCやサーバーなどのセキュリティについて、その現状及び今後の展開をどのように考えていますか。</p>	<p>現状につきましては、札幌市情報セキュリティポリシーに則り管理区域を定めサーバ等を設置、かつ、不正アクセス防止のため、ファイアウォールの設置やネットワーク分離等の対策を取り、重要な情報資産を取り扱うために必要な環境を整備しております。また、今後も最新技術動向の調査研究に努め、その成果を適宜取り入れながら、人的・物理的両面からセキュリティレベルの向上を図り、安定運用に努めてまいります。</p>	財務課
	質問	<p>【資料「水-1」令和2年度予算の概要 P13~14】</p> <p>水道施設の強靱化および水源の多様化のため、多くの予算を必要としています。実際は収入増（水道使用量増）は見込めません。将来的な収支を検討した上で、支出抑制可能な項目は、できるだけ抑制してほしいと思います。たとえば、当別ダムからの受水に際して、支出すべき項目は多いと思いますが、相当分の費用を従来の何の費用を充てるのかなどの検討が必要と思います。</p>	<p>今後も給水収益の減少傾向が続くと見込まれるなど、水道事業を取り巻く経営環境は厳しさを増していくこととなりますが、事業を実施していく中で、施設規模の見直しや延命化などの工夫により経費節減を図ってまいりたいと考えております。また、当別ダムを水源とする石狩西部広域水道企業団への参画に当たっては、受水に相当する水量を活用し、白川浄水場の改修において建設する新浄水場の施設規模を縮小することができます。このような事業の見直しに伴う経費の削減など、より一層効率的な事業運営に努めてまいります。</p>	財務課
五十嵐委員	質問	<p>【資料「水-2-1」札幌水道ビジョンの進捗 P5 主要事業7②】</p> <p>△の評価となった2項目について、伏見地区では水需要予測の減少からその見直しを実施したのであって、計画との不整合はありますが、決して△ではなく、適正に判断したと思われまます。</p> <p>一方、円山西町地区で、表中では水需要予測の減少と記載しながら、文章では用地取得できなかった記載があり、どちらが本質的な理由なのか不明瞭になっています。その理由によって、評価も異なるように思えます。</p>	<p>表の単年度評価は、事業進捗の遅れや計画の再検討が見込まれるものを△としております。両地区ともに、水道ビジョンにて示している令和4年度までの事業完了に現時点では、遅れが生じることも考えられるため、△の評価としたところでです。</p> <p>円山西町地区は、平成30年度に用地取得ができずポンプ場の増設が困難となりました。このため、令和元年度に配水池の運用の見直しなど、宮の森ポンプ場増設の代替案を検討しておりましたが、新たな水需要予測により当該地域の計画水量が減少となり、引き続き検討が必要となりました。現時点では、令和4年度までの事業完了に遅れが生じることも考えられるため、単年度評価を△としました。</p>	施設管理課
	意見	<p>新型コロナウイルスの影響で、水使用量の傾向も変化しているように思います。たとえば、家庭用の水道使用量は増加し、事業所の水道使用量は減少しているように感じます。それらの傾向をぜひ評価し、今後の水道使用量の予測に活用してほしいと思います。</p>	<p>令和2年4月～6月に検針を行った水道使用量については、前年の同期間との比較で、全体の約8割を占める家事用が約4%の増加、全体の約2割を占める家事以外の用が約20%の減少となっており、新型コロナウイルス感染症による影響も受けていると考えておりますが、全体ではほぼ横ばいとなっております。これらの傾向については、今後の水道使用量の予測への活用のため、注視してまいります。</p>	財務課 企画課
市川委員	質問	<p>【資料「水-2-1」札幌水道ビジョンの進捗 P9 主要事業10①】</p> <p>地下式水道メーターを無線式に交換する事業が進められていますが、現在までの無線式水道メーターへの交換実施数と本年度実施予定の清田区、南区における交換実施予定数を教えて下さい。</p>	<p>令和2年3月末時点の札幌市全体の水道メーターの設置数は910,572個で、そのうち検針困難箇所や試験的に導入した地区などに、60,730個の無線式メーターを設置しております。</p> <p>令和2年度の交換実施予定数は清田区3,376個、南区6,194個となっています。</p>	営業課

委員名	区分	質問・意見	水道局回答	担当課
河原委員	質問	<p>【資料「水-1」令和2年度予算の概要 P23~24】</p> <p>令和2年の耐震化が完了予定とありますが、それでは、この他の各事業の工事等において、新型コロナウイルスの影響がすでに出ているとか、何か対応をしていることはありますか。</p>	<p>今年度予定している各事業の工事等において、現時点では新型コロナウイルス感染症による進捗の遅延などの影響は生じておりません。今後も、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、各事業を執行していきます。</p>	計画課
	質問	<p>【資料「水-2-1」札幌水道ビジョンの進捗 P9 主要事業10③】</p> <p>主要事業10「利用者とのコミュニケーションの充実」では、きき水体験の企画は水道のPRにもなり、おもしろそうだと思います。参加者人数に対し、その結果はどうだったのかの方が興味があります。</p>	<p>水道水とミネラルウォーターを飲み比べていただき、水道水の「おいしさ」を実感していただく「きき水」体験について、令和元年度は水道記念館や札幌ドームなどの各種イベント会場で実施し、延べ11,496人の方に体験していただきました。</p> <p>実際に飲み比べた後に、アンケートを実施しておりますが、それぞれの水を「おいしい」と答えた方の割合は、水道水が51.9%、国内産ミネラルウォーターが58.4%、外国産ミネラルウォーターが48.4%となり、水道水もミネラルウォーターと同じぐらいおいしいことを、改めて実感していただきました。</p> <p>《令和元年度「きき水」体験アンケート結果》 【水道水】 ①おいしい：51.9% ②ふつう：37.6% ③おいしくない：10.5% 【国内産】 ①おいしい：58.4% ②ふつう：34.5% ③おいしくない：7.2% 【外国産】 ①おいしい：48.4% ②ふつう：40.7% ③おいしくない：10.9% ※水道水、国内産ミネラルウォーター、外国産ミネラルウォーターについて、それぞれ種類を伏せた状態で飲み、「おいしい」「ふつう」「おいしくない」から回答を選択</p>	企画課
	意見	<p>利用者とのコミュニケーション事業、主催者側は、この事業を実施した報告をされています。利用者（参加側）は、その集計結果の方を知りたいと思うこともあります。各家庭に配布されるパンフレットなどで見てみたいです。それぞれの立場で求めることの違いの差があることも察して下さい。</p>	<p>ご指摘のとおり、事業を実施した際には、単にその結果を報告するだけでなく、各取組で聴取したアンケート等の集計結果などについても、広く周知していく必要があると考えております。今後も、パンフレットへの記載をはじめ、ホームページなど、各種媒体でお知らせしてまいります。</p>	企画課

委員名	区分	質問・意見	水道局回答	担当課
	質問	<p>【資料「水-1」令和2年度予算の概要】</p> <p>コロナの影響により、水道事業の収支にも見込みが変わる可能性があるのでしょうか。3～6月の実績から予測されることがあれば、ご教示願いたい。</p>	<p>令和2年3月～6月の実績を見ると、支出面については、大きな影響は現時点ではありません。主たる収益である給水収益については、前年の同期間との比較で、約4億円の減少(▲3%)となっており、新型コロナウイルス感染症による影響も受けているものと考えております。今後も、新型コロナウイルス感染症の状況と水道事業の収支への影響について、注視していきたいと考えております。</p>	財務課
齋藤委員	質問	<p>【資料「水-2-1」札幌水道ビジョンの進捗 P7 主要事業9③】</p> <p>九州等の集中豪雨を考え、札幌の対策は従前と同じで良いか。水源と水質の安全が守られるのか。過度な投資は不安と考えますが、守られなかった時を想定した対策が必要と思います。</p>	<p>近年の豪雨災害では、水道施設の甚大な被害により大規模な断水が発生しており、今後も同様の災害の頻発化、激甚化が懸念されています。その対応として、基幹浄水場である白川浄水場の強靱化を図るべく、ハード面では新たに改定された洪水ハザードマップに対応した浸水対策として防水扉の設置などを進めていくとともに、ソフト面では浄水場の機能維持の対策として、取水の濁度が高い時間帯の浄水処理量を減らし、浄水場への負荷を軽減させる工夫(ピークカット)を行うなど、より一層の対策を図っていきます。また、新たな水源を確保し、水源や浄水場の分散配置を図るため石狩西部広域水道企業団に参画しており、令和7年度から1日当たり最大44,000m³の水道水を受水する計画です。これにより、豊平川で重大な事故等が発生し、取水できなくなった場合でも一定量の水道水を確保することが可能となります。</p>	計画課
地田委員	質問	<p>【資料「水-1」令和2年度予算の概要】</p> <p>局地的豪雨による想定外の河川氾濫が国内で多発しています。豊平川氾濫を想定した対策は十分と考えていますか。</p>	<p>豊平川の氾濫を想定したハザードマップにおいて、水道局の基幹施設としては白川浄水場が洪水浸水想定区域内に位置しており、対策が必要な状況です。既存浄水場の内、標高が高く浸水想定区域外にある白川第3浄水場の運転を継続可能とするため、防水扉の設置などの対策を令和4年度までに完了する予定です。さらに、令和9年度には浸水想定区域外で新しい浄水場の運転を開始する予定であり、これにより、白川浄水場の給水量のほぼ全てを確保することが出来るようになります。</p>	計画課

委員名	区分	質問・意見	水道局回答	担当課
松浦委員	質問	<p>【資料「水-1」令和2年度予算の概要 P7～8】</p> <p>令和2年度は元年度と比較して、給水人口の増加に対し、年間配水量・年間有収水量が減少しています。その要因は、節水の推進、需要者構成の変化等が考えられると思いますが、市としてはどのように認識しているか、教示願います。また同様の比較で、年間配水量が減少するのに対し、1日平均配水量が増加するのは、閏年の影響でしょうか。</p>	<p>令和元年度は閏年であるため、その影響による増加分として、配水量を約54万㎡、有収水量を約50万㎡と見込んでいました。</p> <p>令和元年度予算の配水量と有収水量から閏年による増加分を除いて比較すると、令和2年度予算は、配水量が約32万㎡の増加(+0.2%)、有収水量が約30万㎡の増加(+0.2%)となり、給水人口の増加(+0.2%)と同様の傾向となります。</p> <p>また、上記のとおり、閏年の影響を除くと配水量は増加(+0.2%)するものと見込んでおり、1日平均配水量の増加(+0.2%)と同様の傾向となります。</p> <p>なお、本市としては、ここ数年のうちに、人口が横ばいから減少に転じること等により、水の使用量は減少傾向で推移していくものと見込んでおります。</p>	財務課
	意見	<p>【資料「水-2-1」札幌水道ビジョンの進捗 P13 主要事業14①】</p> <p>主要事業14「広域化の推進や多様な主体との連携」について、現在、北海道においては、水道広域推進プランの作成に向けた取組が進められていると承知しています。札幌市としては、経営の健全化を前提とした上で、大規模団体としての経営資源の有効活用による貢献等を検討されるものと思いますが、全道的な取組なので、検討状況に応じて「進捗資料」に札幌市の関わりについての記載があるとよいと思います。</p>	<p>ご指摘のとおり、北海道では令和元年8月に「北海道水道広域化推進プラン策定に関する検討会」を設置し、令和4年度末までに水道広域化推進プランを策定することとしており、検討会の資料等は、北海道水道広域化推進室のホームページにて公表されております。</p> <p>http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/ksk/kouikika.htm</p> <p>この検討会には札幌市水道局も構成員として参加しており、検討状況については必要に応じて別途お知らせしたいと考えております。</p> <p>広域化については、札幌市水道局にとっても近い将来の重要な課題と認識しており、引き続き北海道の取組に協力してまいりたいと考えております。</p>	企画課

委員名	区分	質問・意見	水道局回答	担当課
渡辺委員	質問	<p>【資料「水-2-1」札幌水道ビジョンの進捗 P8 主要事業9⑥】 【資料「水-2-1」札幌水道ビジョンの進捗 P9 主要事業10②】</p> <p>P8 防災力の向上取組、緊急貯水槽の見学会や応急給水体験の実施および、P9 水道記念館来館者数増加促進取組について、コロナ禍のなか、具体的にどのような対策をとりつつ実施するのか教えていただきたい。</p> <p>【資料「水-2-2」札幌水道ビジョンの進捗 重点取組項目5】 ・エネルギーの効率的な活用で、令和元年度予算に対して、決算見込額の差が大きい理由を教えていただきたい。</p>	<p><緊急貯水槽見学会・応急給水体験について> 緊急貯水槽の見学会や応急給水体験につきましては、新型コロナウイルスの流行状況を注視し、本年度の予定回数を減らすことも含めて実施のあり方を検討しているところです。実施する場合は、開催者・参加者の双方でマスク着用や消毒・洗浄、社会的距離の確保など「北海道スタイル」の取組を徹底して行います。</p> <p><水道記念館の取組について> 水道記念館は、現在、館内の消毒や来館者・従事者の検温、ソーシャルディスタンス等の呼び掛けを行うなど、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じた上で、展示の一部を開放しております。 ビジョンの計画では、来館者の増加を図るため、小中学校など各種団体へ見学案内を送付する予定としておりましたが、現在、感染症拡大防止の観点から、団体受入や浄水場見学ツアーを休止しており、案内送付についても見合わせている状況です。 冬季閉館中のPR事業については、例年、地下歩行空間でのパネル展などを行っており、令和2年度においても、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じた上で、パネル展等のPR活動を実施する予定です。</p> <p><重点取組項目5の決算見込額について> 予算と決算の差には、契約差金や事業の延期などいくつか理由がありますが、主なものとして、例えば「①水力発電の導入」では、平岸配水池水力発電事業において工事の契約差金が生じたことや、「③環境配慮の意識向上」では、建設副産物の有効利用に関する事業において大規模工事で発生する副産物（土砂）を一時堆積するための業務委託を後年次に変更したことなどが挙げられます。</p>	計画課・企画課
	意見	<p>国民生活センターより、注意情報として「新型コロナウイルスが水道水に混ざっている」、「排水管が新型コロナウイルスで汚染されている」等の根拠のない説明をし、清掃や、ろ過をするなどの相談事例が全国の消費者センターに寄せられていると情報あり。 被害の未然防止のため、水道料金お知らせと共に各戸配布されている「じゃぐち通信」で啓発するなど、ご検討をいただきたい。</p>	<p>新型コロナウイルスと水道水の安全性に関しては、水道局ホームページにおいて「コロナウイルス等のウイルスに対しては塩素による消毒効果が高いとされており、水道局では、浄水場で適切に塩素消毒を行い、安全な水を供給している」ことについて広報しております。さらに、ホームページや各種広報媒体を通じて水道局電話受付センターや水質管理センターの電話番号を公開し、水質不安等に関するお問い合わせにご対応してきております。 今後も、「じゃぐち通信」での啓発も含め、利用者の水道水に対する安全・安心のための広報を継続してまいりたいと考えております。</p>	施設管理課 ・企画課